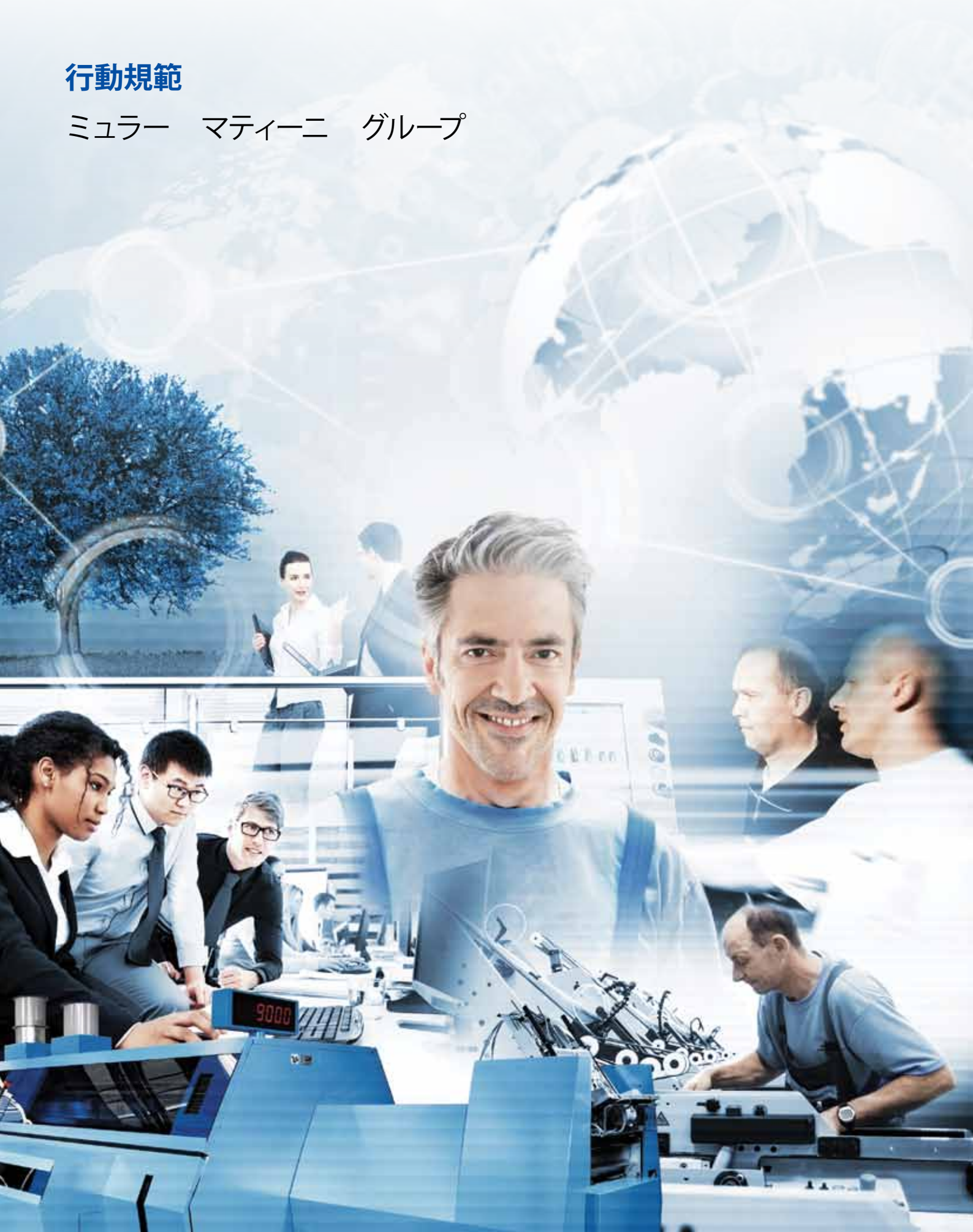


# 行動規範

ミュラー マティーニ グループ



Your strong partner.

MÜLLER MARTINI

---

## コンテンツ

---

1	その目的および範疇	3
2	我が社の価値基準	4
3	経営方針	5
4	職場および雇用機会の均等	6
5	お客様への対応	7
6	環境	8
7	我が社の企業倫理	9
8	実践に関して	11
9	最後に	12

2018年9月1日



## その目的および範疇

# 1

このミュラーマティーニグループ行動規範は、我が社の業務執行における価値基準と原則を規定し、倫理面や法律面、そしてプロとしての高い水準を満たす手助けとなります。この行動規範は世界全てのミュラーマティーニグループ従業員に適用されます。



## 我が社の価値基準

# 2

我が社の計画および活動は、全世界のミュラーマティーニグループ従業員全員の共有ベースとなる価値基準に即して行われます。この価値基準はステークホルダーに対する信頼関係の礎となり、対外に誇示できる指標ともなります。

我が社の価値基準:

- ▶ 長期的に経済性がある
- ▶ 問題解決に秀でる
- ▶ 仕事に情熱をもつ
- ▶ お客様の立場で考える
- ▶ 継続性がある
- ▶ 高品質である



## 経営方針

3  
ミュラーマティーニグループの経営方針は、長期的視野に基づき、お客様、および従業員、サプライヤー、オーナー等、全てのステークホルダーが永く満足できることを目指します。長期的な成功は、短期的な利潤追求より重要な目標であると私達は考えます。

社風として、常日頃、責任感を持ち、信頼を築き、継続性を保つことに努めます。次世代に向け、社会的側面や地球環境面も踏まえた上で、我が社の継続、および我が社のビジネスの将来を確立することは、私たちの責任にかかっています。

相互における信頼と尊重の気持ちを忘れず、率直に意見が言える社風を目標とし、保守的な会計ポリシーと野心的な経営戦略と両者の最適なバランスを目指し努力をします。我が社の役職員は仕事に熱意を持ち、経営者の立場で考えることにより、模範を示し、責任感と人間的な態度をもって部下のやる気を促進するべきです。

私達はプロとしてのコミュニケーションに努め、お客様およびサプライヤーに対しても、社内や報道機関および広報活動においても、情報は明確かつ正確に分かりやすく伝達されます。





## および雇用機会の均等

我が社の社員は経営成功の骨組みを担っています。職場および生産現場は、事故や病気、又はその他の安全を損なう可能性のある危険を回避できるよう整備されなければいけません。安全性および健康に害があると思われる問題には速やかに対応することが求められます。

人間関係は尊重と尊厳、公平を基調とします。雇用と昇進は、仕事の能力や社会性、必要とされる資格および個人の資質に基づき決定されます。

ミュラーマティーニグループは職場におけるいかなる種類の差別やハラスメントをも許容しません。特に、国籍、人種、性別、年齢、宗教、性的志向、ハンディキャップ、その他、法の保護のもとにある個人的特徴がこれに含まれることは言うまでもありません。社員それぞれが皆違うということを私達は尊重します。

ミュラーマティーニグループは、強制労働、義務労働、少年労働を絶対許容しません。



## お客様への対応

私達の企業活動は「お客様のお役に立つ」ということを最重要項目としています。商品の革新的ソリューションとお客様のご利益となるサービスを探求し、開発するには、オープンな社風がその前提条件となります。品質と精密さ、お客様へのサービスに妥協は許されません。

我が社の商品はお客様にとって安全で信頼のおけるものでなければなりません。それは私達の務めです。私達は工業規格、および製品の安全にかかわる全ての関連法と規準を遵守します。

我が社は、専門技術者がお客様のもとに直行できるように世界各地に拠点とサービス網を備えています。我が社の代表者は、技術とコミュニケーションに精通し、販売とサービスのプロの従業員を抱える一流のアドバイザーであり、業界の強力なパートナーとしての座を確保し、お客様にご奉仕いたします。その為には常に研修に励み、最新のノウハウを習得します。



## 環境

ミュラーマティーニグループは地球環境保護の原則を私達の義務ととらえ、我が社の責任について考えます。高品質の製品を開発することで、環境保護に関する適用法規制を遵守するのはもちろん、お客様の要求を満たし、機能性、精密度、エネルギー効率の良さで自然資源を節約します。

例えば新製品の開発、新しい製造ラインや建築物インフラストラクチャーの計画等でも、我が社の商業行為が環境に及ぼす影響を考慮します。我が社の製品 および製造現場の効率や性能は常に改善されています。あらゆる無駄、特に水とエネルギーの無駄遣いはその原因を顧み、極力削減します。





## 我が社の企業倫理

我が社のビジネスは公平と誠実をもって行い、社内規定を守ることはもちろん、現行の法規制も遵守します。そしてこれらの規定の内容はもちろん、その趣旨にも従います。

### 7.1 秘密守護と個人情報の保護

我が社のビジネス機密やノウハウといったものを含め、極秘情報および内部情報は許可なく不当に第三者に渡したり、公になることがないよう、細心の注意を払います。従業員が個人の利益のため、または不当な目的や違法目的のために内密情報を利用したり、持ち出し、漏洩、公開することを禁じます。個人情報に関する法規制の点からも、機密や個人情報、データの安全が守られなかった場合は速やかに報告します。

我が社は個人情報保護に関する法規制を守ります。情報の操作や捏造はしません。

我が社は従業員および納入業者、お客様の個人情報保護に細心の注意を払います。現地の個人情報保護法に即した形で、ミュラーマティーニグループの従業員の個人情報は相互の義務および職務上の必要があるが時にのみ使用されます。

### 7.2 帳簿および書類

我が社のビジネス過程は、実際の出来事に相応した形で、時を経ず、正確かつ完全に記録されます。(真実かつ公正) 我が社の帳簿およびその他の書類は、いい加減な修正、捏造、または不正なアクセスからは保護して保管されなければいけません。

### 7.3 社の所有物および資産

ミュラーマティーニグループの所有物、知的財産、資産、設備などは細心の意をもって取り扱い、保全保護に努めます。これらのものはミュラーマティーニグループとその関連会社の事業目的のためにあり、個人の利益や不当な目的のためにあつてはなりません。従業員の業務から生ずる全ての業績成果は、該当国の権利法規定の範疇におき、ミュラーマティーニグループのみにその権利が認められます。私達は第三者の所有物、知的財産、資産を尊重します。



#### 7.4 利害の衝突

ミュラーマティーニグループと利害の衝突する行為、または会社に不利に働く可能性のある行為や個人の

利益にしかならないと思われる行為を私たちは禁止します。副業やミュラーマティーニグループ以外の任務、親族や友人などが携わる事業パートナーとの契約、ミュラーマティーニグループの事業活動と競合する事業活動に関することなどが、特にそのような例として当てはまります。

利害の衝突およびその可能性が考えられる場合、速やかに会社の上司または社長に申し出、実際に利害の衝突があるか審査の上で、最も公明正大な形で事情の対処に当たります。場合によっては処置決定の場に当事者は立ち合いません。

#### 7.5 贈収賄行為

私達は贈収賄の誘いに応じず、贈収賄行為を許容しません。仕事関係での贈答品や接待、特別な取り計らい等は、その値段価値や頻度が程々で、その土地の慣習や現行の権利といった状況に見合う場合のみ受け入れます。そのような贈答品や接待、便宜等は、事業決定に影響を及ぼしてはなりません。

以下のように疑われかねないような場合、現金やそれに準ずる金券といったものの受け取りを禁じます。つまり、契約、その他のビジネスやサービスにおいてその相手を特別扱いしたり、不当に状況維持を取り計らう、または当事者同士に利害の衝突が生じる可能性のある場合などで

お客様や事業パートナーの従業員およびその代理人(家族や友人など)に賄賂やその他の不法な支払い、高価な便宜サービスを与えたり、約束したりすることを禁じます。

#### 7.6 競争および独占禁止法

私達は独占禁止法とその関連の法規制を守り、市場において品質やサービス、値段に基づく公明正大な取引を行います。特に、値段設定や市場分割、市場制限、事業提携のボイコットや回避などにつき、談合や申し合わせ、競合社との情報交換に関わりありません。

## 実践に関して

### 8.1 倫理的業務執行決定

私達は常日頃、倫理的側面のある業務執行決定を下す機会があり、これはミュラーマティーニグループの資産価値や会社の繁栄、評判に影響を及ぼす可能性があります。熟慮の上で決定を下すためには以下のような考察が不可欠です。

- ▶ その決定は長期的にもミュラーマティーニグループのためになるか。
- ▶ その決定およびその顛末がマスコミ報道されることになった場合、ダメージを受ける恐れはないか。
- ▶ その決定により、ミュラーマティーニグループの利益を代表する自分が、他のことと板挟みになるような障害が発生しないか。
- ▶ その決定権が自分にあり、ミュラーマティーニグループのカーバーできるリスク領域であるか。
- ▶ その決定が倫理的に正しいものであるか、合法であるか。

もし懸念や不安な点がある場合は上司に指示や意見を求めてください。

### 8.2 規則受諾

全ての従業員がこの行動規範を熟知し、その規定に従って行動することを期待します。この行動規範に違反した場合、契約解雇も含め、相応の処置がとられることがありますのでご注意ください。

### 8.3 内部通告

従業員の中で、何か特定の行為がこの行動規範に反すると良心から危惧する者は、それを上司、人事部、社長、しいてはグループ最高経営責任者に申し出て下さい。そのような通告は内密に取り扱われます。良心的信条からそのような通告に及んだ者は、その通報により雇用関係で制裁措置を受けることはありません。

従業員の通報やクレームは速やかに審査し、それに対処します。



## 最後に

この行動規範に記載されている基本理念は、グループ系列内や子会社など、それぞれの段階に応じ、さらに社内規定や規則が補足されます。

この行動規範はミュラー マティーニ ホールディング株式会社の2018年2月20日の取締役および執行役員会議にて議決され、2018年9月1日より施行されます。この行動規範は多数の言語に翻訳されています。言語により内容に差異が生じた場合は、ドイツ語版を基準とします。

この行動規範はいかなる変更を加える場合にもミュラー マティーニ ホールディング株式会社の取締役会の承認が必要です。

2018年2月20日、ヘルギスヴィル市にて

ミュラー マティーニ ホールディング株式会社



ルドルフ B. ミュラー  
取締役会長



ブルーノ ミュラー  
最高経営責任者